

1. 科目名 (単位数)	発達心理学特論 (2 単位)	3. 科目番号	SJMP5316
2. 授業担当教員	酒井 博美		
4. 授業形態	講義・演習・文献購読	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	履修条件は特になし		
7. 講義概要	保育の現場における心理学は、乳幼児だけでなく、保護者や家族(きょうだい、祖父母等)も対象となる。特に乳幼児期は、人格形成の基礎となる時期である。発達の様相とつまずきへの対応について、事例や先行研究に学びながら理解を深める。		
8. 学習目標	各ライフステージにおける発達課題と対応について、具体的実践的に理解することを目標とする。特に、生涯発達の初期である乳幼児期の発達とその支援について理解する。		
9. アサイメント(宿題)及びレポート課題	各コマで学ぶキーワードについてあらかじめ学習してから授業に臨むこと。 第15回において、発達心理学に関連する用語について、口頭試問を行う。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 二宮克美・大野木裕明・宮沢秀次編『ガイドライン生涯発達心理学[第2版]』ナカニシヤ出版 【参考書】 H. ルドルフ シャファー 著『子どもの養育に心理学がいえること—発達と家族環境』新曜社 内田伸子編『発達心理学キーワード』有斐閣双書		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の基準 ・生涯発達の各ステージにおける発達課題について理解しているか、 ・生涯発達の初期である乳幼児期の発達の重要性について理解しているか、 ・発達のつまずきへの対応や支援について理解しているか、 などを総合的に判断する。 ○【通学】事前学習 30%、 授業における学習課題への取り組み 40%、 口頭試問 30%、 【通信課程】レポート(論文) 50%、 単位認定試験(課題論文) 50%		
12. 受講生へのメッセージ	なにげなく過ごしている日常も、生涯発達の視点で捉えるとこれまでと違ってみえてくることがあります。 抱える問題や悩みの本質は何なのか、発達の視点から理解し、対処できるように学んでください。		
13. オフィスアワー	授業内で示します。		
14. 学習の展開及び内容【テーマ、学習の目標、学習の内容、キーワード、学習の課題、学習する上でのポイント等】			
1. テーマ	発達心理学とライフサイクル		
【学習の目標】	「発達」の概念について知る。		
【学習の内容】	生涯発達という考え方について学ぶ。		
【キーワード】	生涯発達、ライフサイクル、発達課題、ピアジェ、エリクソン、ハヴィーガースト、フロイト		
【学習の課題】	現代の「発達」の意味を知る。著名な研究者の唱えた発達理論を学ぶ。		
【学習する上での留意点】	常に身近な事例を思い浮かべながら、テーマについて考えてください。また、新聞やテレビなどの報道と関連付けながら発達の問題を捉えてみてください。(以下同じ)		
2. テーマ	胎児期・乳児期の発達心理		
【学習の目標】	胎児期・乳児期の発達の特徴と発達課題を知る。		
【学習の内容】	胎児期・乳児期の発達の特徴について学ぶ。		
【キーワード】	愛着、信頼感の形成、共同注意、社会的参照、シンボル(象徴)機能		
【学習の課題】	乳幼児期の特徴のうち成人期に引き継がれやすいものについて調べる。		
【参考文献】	日本発達心理学会企画／柏木恵子・藤永保監修『育児・保育現場での発達とその支援』ミネルヴァ書房 内田伸子編『発達心理学キーワード』有斐閣双書		
3. テーマ	幼児期の発達心理		
【学習の目標】	幼児期の発達の特徴と心の問題を知る。		
【学習の内容】	幼児期の発達の特徴について学ぶ。		
【キーワード】	集団保育(幼稚園・保育所・認定こども園)、第1反抗期、基本的な生活習慣、自己中心性、アニミズム、ことばの発達、質問期		
【学習の課題】	上記のキーワードと発達特性との関連について考察する。		
【参考文献】	日本発達心理学会企画／柏木恵子・藤永保監修『育児・保育現場での発達とその支援』ミネルヴァ書房 内田伸子編『発達心理学キーワード』有斐閣双書 森上史朗・柏女霊峰編『保育用語辞典第8版』ミネルヴァ書房 鹿取廣人『ことばの発達と認知の心理学』東京大学出版会		

4 . テ ー マ	発達と人生早期の逆境的環境
【学習の目標】	人生早期の逆境的環境がその後の発達にどのように影響するかについて知る。
【学習の内容】	虐待をはじめとした逆境的環境が、どのようにその後の発達に影響するのか、近年の知見を学ぶ。
【キーワード】	心的外傷ストレス症候群(PTSD)、子どもの発達の可塑性
【学習の課題】	人生早期の逆境的環境と発達との関連について、関連論文を検討する。
【参考文献】	杉山登志郎『そだちの臨床－発達精神病理学の新天地－』誠信書房
5 . テ ー マ	Early Childhood Development と早期教育
【学習の目標】	人生早期の教育的環境とはなにか、早期からの集団保育は弊害をもたらすかを知る。
【学習の内容】	幼児期に促進されるべき能力や教育的環境の要素、早期からの集団保育の影響について学ぶ。
【キーワード】	ECD、早期教育、非認知能力
【学習の課題】	海外の事例や研究知見を参考に、早期教育や集団保育の利点・弊害について考えてみる。
【参考文献】	ホール・タフ『私たちは子どもに何ができるのか』英治出版 J・ヘックマン『幼児教育の経済学』東洋経済新報社 武田信子『やりすぎ教育：商品化する子どもたち』ポプラ社 日本子ども学会編集他『保育の質と子どもの発達 アメリカ国立小児保健・人間発達研究所の長期追跡研究から』赤ちゃんとママ社
6 . テ ー マ	育児現場への支援
【学習の目標】	保護者への支援、子どもへの支援について知る。
【学習の内容】	育児現場への支援とは、保護者をめぐる問題、子どもをめぐる問題、育児現場での支援の実際について学ぶ。
【キーワード】	保護者支援、家族システム、子育て支援政策、しつけと虐待の境目
【学習の課題】	子育て支援についての新聞記事などをスクラップし、保護者のニーズや支援のあり方について考える。
【参考文献】	日本発達心理学会企画／柏木恵子・藤永保監修『育児・保育現場での発達とその支援』ミネルヴァ書房 内田伸子編『発達心理学キーワード』有斐閣双書 森上史朗・柏女霊峰編『保育用語辞典第8版』ミネルヴァ書房
7 . テ ー マ	保育現場への支援
【学習の目標】	保育者への支援、子どもへの支援について知る。
【学習の内容】	保育現場への支援とは、保育者をめぐる問題、保護者をめぐる問題、子どもをめぐる問題、保育現場での支援の実際について学ぶ。
【キーワード】	アセスメント、保育者支援、コンサルテーション、保育カンファレンス
【学習の課題】	保育現場での保育者への支援のあり方について考える。
【参考文献】	日本発達心理学会企画／柏木恵子・藤永保監修『育児・保育現場での発達とその支援』ミネルヴァ書房 内田伸子編『発達心理学キーワード』有斐閣双書 森上史朗・柏女霊峰編『保育用語辞典第8版』ミネルヴァ書房
8 . テ ー マ	児童期の発達心理
【学習の目標】	児童期の発達の特徴と心の問題について知る。
【学習の内容】	児童期の心の発達と心の問題における特徴と対処法について学ぶ。
【キーワード】	脱中心化、自己有能感、ギャングエイジ、いじめ、不登校、発達障害
【学習の課題】	「いじめ」「不登校」の定義を確認する。上記のキーワードと発達特性との関連について考察する。
【参考文献】	内田伸子編『発達心理学キーワード』有斐閣双書 小栗正幸『発達障害児の思春期と二次障害防止のシナリオ』ぎょうせい 杉山登志郎『そだちの臨床－発達精神病理学の新天地－』日本評論社
9 . テ ー マ	青年期の発達心理
【学習の目標】	青年期の発達の特徴と心の問題について知る。
【学習の内容】	青年期の心の発達と心の問題における特徴と対処法について学ぶ。
【キーワード】	第2反抗期、第二次性徴、アイデンティティ、モラトリアム、思春期やせ症、摂食障害
【学習の課題】	上記のキーワードと発達特性との関連について考察する。
【参考文献】	小栗正幸『発達障害児の思春期と二次障害防止のシナリオ』ぎょうせい
10 . テ ー マ	発達障害と発達段階における変遷
【学習の目標】	「発達障害」の定義を学び、発達段階ごとの変遷について知る。
【学習の内容】	「発達障害」の特性と誤解の要因、発達段階ごとの変遷、二次障害への発展への予防について学ぶ。
【キーワード】	発達障害、各発達段階ごとの様相、二次障害、行為障害、触法
【学習の課題】	発達障害の二次障害を予防するために必要なことを考察する。
【参考文献】	日本発達障害福祉連盟『発達障害白書2017年版』明石書店 小栗正幸『発達障害児の思春期と二次障害防止のシナリオ』ぎょうせい
11 . テ ー マ	成人期の発達心理
【学習の目標】	成人期の心理と心の問題について知る。
【学習の内容】	成人期の心理と心の問題の理解をするとともにその解決法を学ぶ。
【キーワード】	アイデンティティの再構築、親になること、多重役割、熟年離婚、空の巣症候群
【学習の課題】	上記のキーワードと発達特性との関連について考察する。

【参考文献】	内田伸子編『発達心理学キーワード』有斐閣双書
12. テーマ	老年期の発達心理
【学習の目標】	老年期の心理、問題の解決法について知る。
【学習の内容】	老年の生きがいとその喪失、死の不安、うつ、認知症について学ぶ。
【キーワード】	心身症、自殺、死の不安、認知症
【学習の課題】	老年期の心理の特徴について考察する。
【参考文献】	佐藤眞一・権藤恭之 編著『よくわかる高齢者心理学』ミネルヴァ書房
13. テーマ	発達心理学の研究
【学習の目標】	発達心理学における研究法について必要な知識を得る。
【学習の内容】	各種研究法、調査研究の手順、心理学研究の倫理を学ぶ。
【キーワード】	心理学研究法、調査法、質問紙法、面接技法、発達評価
【学習の課題】	日本心理学会等で公開している心理学研究の倫理について WEB を用いて調べる。
【参考文献】	南風原朝和・市川真一・下山晴彦編『心理学研究法入門 調査・実験から実践まで』東京大学出版会
14. テーマ	発達の評価
【学習の目標】	発達評価の方法について知る。
【学習の内容】	各種発達評価の目的、操作法、実施上の留意点について学ぶ。
【キーワード】	津守式乳幼児精神発達質問紙、遠城寺式発達検査、K-ABC、WISCIII, PEP-3
【学習の課題】	発達評価の方法を1つ選んで目的、操作法、実施上の留意点を説明できるようにする。
【参考文献】	各種発達検査マニュアル
15. テーマ	発達心理学の総括と口頭試験
【学習の目標】	乳幼児期から老年期までの生涯発達について理解する。
【学習の内容】	乳幼児期から老年期までの発達心理を理解し、各期の心のケアを考える。
【キーワード】	現代の発達心理の定義
【学習の課題】	生涯発達とは何か、考えをまとめる。